

2017年8月27日

福音書からのメッセージ

わたしはあなたに天の国の鍵を授ける。あなたが地上でつなぐことは、天上でもつながれる。あなたが地上で解くことは、天上でも解かれる。

(マタイによる福音書 16章 19節)

イエス様は弟子たちに対し、「それでは、あなたがたはわたしを何者だと言うのか」と聞きます。そのときにペトロは「あなたはメシア」と言います。この言葉はペトロの信仰告白と言えます。ここでメシアと訳されている語は、ヘブライ語で油注がれた者、救い主という意味です。この語のギリシア語訳が「キリスト」です。ですからペトロはこう言っているのです。「イエス様、あなたはキリストです」と。

わたしたちもイエス・キリストと言うとき、ペトロと同じように信仰告白をしています。実はそこにはこのような意味があるのです。「イエス様こそ、わたしたちの救い主であるキリストです」。

さてイエス様は、ペトロの信仰告白に対し、「あなたはペトロ」と返します。ペトロとは「岩」という意味です。しかし聖書に出てくるペトロのイメージは、申し訳ないですが「岩」とはかけ離れているように思います。でも確かにイエス様は、ペトロのことを岩と呼び、その上に「わたしの教会」を建てると言われました。教会とはもともと、「呼び集められた」という意味です。従ってイエス様がいう「わたしの教会」とは、イエス様によって集められた人たちであるともいえます。

当時の神殿や会堂は、神さまに呼び集められた人たちが集う場所だったのでしょうか。少なくともイエス様はそうは思いませんでした。人を排除し、差別し、何かと理由をつけては共に交わることをしない。天の国の門を閉ざす場所でした。



岩の上に建つイエス様の教会、そこでは、集められた人々に救いの道を閉ざすことがあってはならないのです。ペトロはその鍵を預けられます。

ペトロが強い人間で、自分の力だけでその地位に立っていると思っていたならば、ペトロは人々を罪の鎖に縛り付けたまま、天の国の門を閉ざしていたことでしょう。それは律法学者やファリサイ派の行動と、まさしく同じことです。しかしペトロは、自分の弱さを知っていました。涙も何度流したことでしょう。恐れに負け、不安の中、戸惑い、イエス様を見捨ててしまう自分をよく知っているのです。その弱い自分がイエス様に呼ばれ、イエス様をキリストと告白することで、天の国の鍵を預けられました。周りには神さまに集められた、神さまにすがるしかない人たちがいます。ペトロはどうして、天の国の門を閉ざすことができるのでしょうか。

イエス様は教会を、ペトロの、そしてわたしたちの信仰告白の上に建てられました。そして、その呼び集められた一人ひとりに、鍵が与えられているとしたら、わたしたちはどうするべきでしょうか。門の扉を閉めるのでしょうか。それともその扉の鍵を開け、すべての人たちと共に神さまの恵みに感謝するのでしょうか。

桃山基督教会

〒612-8039

京都市伏見区御香宮門前町 184

TEL/Fax 075-611-2790

メール momoyama.kyoto@nssk.org

<教会ホームページ>

<http://momoyama.hannari.com/>